

ミュージアム・インクルージョン・プロジェクト訪問記録

県立考古博物館加西分館 (古代鏡展示館)	
カテゴリー: 博物館	
所在地: 加西市	
調査隊: 加西市手をつなぐ育成会 (訪問日: 2023.11.20)	
障害種別: 知的障害	
プロジェクト参加への動機: ・フラワーセンターへ知的障害のある人の来園が増えている状況で、当館としてはどのように対応したらよいか知りたい	
PRしたいところ: ・中国の美術品という他では見ることのできない作品を見て、楽しんで欲しい	
特別な配慮を必要とする人(高齢者・障害者・外国人など)向けのプログラム・配布物がありますか？ ・多言語のリーフレットが用意されている ・夏休みに子ども向けのワークショップ/クイズラリーを開催し、家族で楽しんでもらえるような企画をしている ・映像について今後はユニバーサル化を検討する必要があると認識している	
障害者への対応をしていることはありますか？ ・常時触ることのできる展示がある。	
障害のある人が来館されて、困ったこと／どうしていいかわからなかったことはありますか？ ・障害のある方は概ね介助して下さる方が同行されているので、特に困ったことはない ・聴覚障害のある方が来館されたときに言語でのコミュニケーションが難しいことがある。 (講演会などであれば、ユニバーサル推進課から手話通訳者を手配してもらうことができるのだが) ・障害と言っても特性が様々なので、具体的にどのようにしてよいかわからないことがある。	

調査報告

よかった点(いいな、と感じた点)

- ・ゲームや映画などにも登場するものが展示されていて、親近感を持って見る事ができた
- ・鏡のパズルは手で触ることが出来て楽しい
- ・展示物を検索して見る事ができるのが楽しい
- ・壁に映されている鏡の模様がとてもきれいだった
- ・フラワーセンターのなかにあるので、散策やウォーキングの途中で気軽に立ち寄れる
- ・説明を聞きながら楽しく見て回ることができた(自分達だけで来館した時にはそんなに興味深くは見ていなかった)

→(A) 見学者が作品に親しめるよう、学芸員が展示解説できる旨を掲示する

調査隊が「こうすればもっと楽しめる」と感じた点

(館としての考えられる対応策→ (A)すぐにやれそうなのでやってみよう

(B)色々な内容を精査して中期的に計画しよう

(C)長期的に検討課題としよう

(D)対応が難しい・できない

プログラム

- ・鏡の模様にある動物を探せ！のようなクイズがあると興味を持って丹念に展示物を見る事ができると思う。
- ・きれいな鏡があったので、鏡の模様をプリントしたものに自分だけの着色できるような塗り絵コーナーがあったら楽しそう
- ・シリコンとか紙粘土などで実際に作ってみるようなワークショップがあったら楽しそう

展 示

- ・そのままだと漠然と眺めて終わってしまうので、展示物のなかのひとつを大きくして、どこにあるかを探すようなことがあればひとつひとつの展示を丁寧に見ることができそう
 - ・館全体が明るく楽しい雰囲気だったらいいな、と思う(楽しい壁面、明るい色など)
- (D) 施設のハード面の改善については、経費的な問題があり対応が困難
- ・展示に関するゲーム的なものがあれば興味を持って展示物を見る事が出来そう

施 設

- ・ゆっくりと見たり、少し休めるようなリラックス空間があればありがたい

→(D) 施設のハード面の改善については、経費的な問題があり対応が困難

受け入れ体制

- ・たくさんの言語パンフレットが用意されていた。子ども向けのような(簡単な)パンフレットもあるとありがたい

→(B) 展示作品のみどころ紹介や配布資料の改善

・静かに見て回ることが難しいのでゆっくり観覧することができない。「少しくらい声が出ても大丈夫だよ」と思えるような雰囲気があるととてもありがたい。

→(A) 会話しながら見学できることを示し、静かに鑑賞するものというイメージをなくす。
また、見学者が作品に親しめるよう、学芸員が展示解説できる旨の掲示をする

その他

・館のキャラクターがあれば館や展示物に親しみを持つことができそう

→(C) 作品が難しい、馴染みにくいという障壁を取り払うようにしていく

★プロジェクトに参加して

調査隊の感想

- ・障害者がもっと自然に、もっと普通に社会参加できるような工夫や人の思いやりが増えることを願っています。
- ・弱い人、困っている人が過ごしやすい場所が地域にあれば、余暇活動が充実していく。そうなると地域の福祉力が強くなり、笑顔の輪もひろがると思います。この取り組みがその一端になると嬉しいと思うし、そこに参加できたことがありがたい

施設の感想(気づきや発見)

- ・これまで障害者にどのように対応するかを考えていたが、介助者も館の利用者であるということを感じた。
- ・このプロジェクトに参加することで新しい視点から見ることができた。より良い対応を目指す館にプロジェクトが刺激になるといいと思う